

JTB 広報室 2026年4月1日

## JTB、データ分析事業者 株式会社ナイトレイの全株式譲受を実施

～「交流創造 Intelligence」の強化と「エビデンス・ベースド・マーケティング」を推進～

株式会社 JTB(本社:東京都品川区、代表取締役 社長執行役員:山北 栄二郎、以下「JTB」)は、2026年4月1日付でデータ分析事業を展開する株式会社ナイトレイ(本社:東京都渋谷区、代表取締役:石川豊、以下「ナイトレイ」)の全株式を譲受しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

JTB グループは、長期ビジョン「OPEN FRONTIER 2035」\*1の実現に向け、多様な人流・情報流・物流を組み合わせた価値創造を推進しています。その中核を担う「交流創造 Intelligence」の強化は、お客様への提供価値を最大化する上で不可欠であり、顧客インサイトデータの活用力・データ分析力の高度化が主要な計画となっています。



感動のそばに、いつも。



### 私たちがこれから強くする交流創造Intelligence

	現在の強み	2035年の変革
洞察力	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客インサイトの収集力</li> <li>日本中心のネットワーク力</li> <li>潜在的な課題・ニーズ把握力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客インサイトデータの活用力</li> <li>グローバルなネットワーク力</li> <li>顧客視点をもった課題解決力</li> </ul>
専門性	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略や施策を立案する力</li> <li>臨機応変に対応可能な現場力</li> <li>顧客目線でのプロデュース力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「AI×人」で実現する提案力</li> <li>デジタルリテラシー</li> <li>プロジェクトマネジメント力</li> <li>クリエイティブ力</li> <li>デザイン思考</li> <li>データ分析力</li> </ul>
2035 Desired State 2035のありたい姿		世界中の交流に実感価値を創造する 交流メディア企業

ナイトレイは、2011年の創業以来、地理空間データ分析の専門技術と高度なスキルを基盤に、国内観光・インバウンド対策・まちづくり領域の顧客に対して、SNS・携帯基地局・アプリ GPS・決済・カープローブなど多様なデータに対応した人流データ分析ソリューションを開発・提供してきました。独自に開発した「CITY INSIGHT(シティインサイト)\*2 \*3」は、日本国内の各地域の生活者・旅行者の移動・滞在・宿泊・消費傾向を人流データとして読み解くことができる地域活性化支援ソリューションとして、多くの地方自治体や民間企業に活用されています。

今回の全株式譲受により、JTB グループはナイトレイのデータ分析に関する専門スキルを戦略的に獲得し、課題発見から効果検証までのプロセスを内製化します。交流をデータで捉え、交流の価値を可視化することで、提案力と施策効果に関する説明責任を強化し、2035年のありたい姿に向けた取り組みを加速してまいります。

## <会社概要>

### 【株式会社 JTB】

- ・所在地 : 東京都品川区東品川二丁目 3 番 11 号
- ・代表者 : 山北 栄二郎
- ・創立 : 1912 年 3 月 12 日
- ・資本金 : 1 億円(2026 年 3 月現在)
- ・事業内容 : 交流創造事業、旅行業、事業持株会社
- ・コーポレートサイト : <https://www.jtbcorp.jp/jp/>

### 【株式会社ナイトレイ】

- ・所在地 : 東京都渋谷区南平台町 15-11 南平台野坂ビル 4F
- ・代表者 : 石川 豊
- ・設立 : 2008 年 10 月 9 日(創業:2011 年 1 月 1 日)
- ・資本金 : 1 億円(2026 年 3 月現在)
- ・事業内容 : CITY INSIGHT を中心としたロケーションインテリジェンス事業
- ・コーポレートサイト : <https://nightley.jp/>

## <今後の展開>

### 1. データドリブンな営業強化

ナイトレイが観光を中心に蓄積してきたデータ分析力を JTB グループに付加することで、施策効果の可視化・説明力の強化を図ります。Meetings & Events 事業においては、来場者のカスタマージャーニーを捉え、動線やインサイトを分析し、イベントがもたらす価値の可視化に挑戦します。また、プロモーション事業においては、効果測定を強化して、顧客への説明責任の強化と、データ分析による潜在的な課題を顕在化させ、顧客の次なる課題解決に対する提案力強化につなげてまいります。

### 2. JTB グループ全事業領域におけるデータ分析基盤の確立

ナイトレイのデータ分析技術を、法人事業に留まらず、JTB グループ全体の多岐にわたる事業領域へ展開します。具体的には、JTB が保有する旅行者データとの掛け合わせによる、地域の観光振興に対する効果的な施策立案や検証など、各事業部門で個別に行っていた分析業務を統合・内製化します。「交流」をデータで捉え、「交流の価値」の可視化に挑戦することで、JTB グループが提供するあらゆる「交流」の価値を最大化してまいります。

\*1: OPEN FRONTIER 2035: JTB グループ長期ビジョン(<https://www.jtbcorp.jp/jp/ourstory/2035vision/>)

\*2: CITY INSIGHT コンサルティングサービス (<https://cityinsight.nightley.jp/>)

\*3: CITY INSIGHT ソフトウェアサービス (<https://cityinsight.nightley.jp/copilot>)

## ▼ナイトレイ社のニュースリリース

<https://nightley.jp/archives/15970/>

---

■報道関係の方からのお問合せ先

JTB 広報室 03-5796-5833(東京)